

7月22日大阪自治労連青年会議のWELCOME PARTY。「いのちは大切」は当たり前。一人ひとりが想像できれば争いはおこりません。「LOVE&PEACE」の精神を職場の青年と一緒に広げましょう

WELCOME PARTY
2023.7.22 シティプラザ大阪



核兵器のない世界を 一人ひとりの声が平和の力



府内各地で「核兵器なくせ」「平和を守ろう」「軍拡よりもくらしを守れ」をアピールしながら歩きました

2023国民平和大行進は、6月30日から7月7日にかけて大阪府内を通り、8月4日には広島市内の平和公園、8月6日には長崎市内の松山公園で終結。広島・長崎で行われる「原水爆禁止世界大会」へ向けて、大阪自治労連からも多くの仲間が参加しました。

5月のG7広島サミットで岸田首相が示した「広島ビジョン」は、核兵器を持つことで戦争を防ぐ核抑止の考え方を肯定した内容になっており、広島市の被爆者7団体は「期待に程遠い」と批判しています。現在（7月31日時点）、日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める「意見書」決議が661自治体の議会で採択されています。

コロナ危機や物価高騰、自然災害による国民生活の苦難をよそに、大軍拡をすすめる政治に対して、憲法の平和主義を守り、核兵器のない平和で公正な世界をめざす声をあげましょう。

数の力で 学童保育を よりよいものに

河内長野にある公立小学校で、学童保育の指導員として働いている二人。年齢を重ね様々な経験が、この仕事に興味を持つきっかけになったそうです。



河内長野市放課後児童会指導員労働組合

執行委員長 尾崎 絹子さん(左)
副執行委員長 松本 三起子さん(右)

子どもたちの 絶対的な味方

二人の共通点は、お子さんを学童保育に預けていたという事です。
昔は学校の先生になりたかったという松本さん。お子さんが、通っているときは見えていなかった学童保育という仕事に興味を持ったそうです。他への就職も考えたこともあったようですが、人手不足の現状にそのまま続けてきているとのこと。でもそのお

計画したあとの 達成感が好き

仕事以外での二人は、インドア派アウトドア派と全く違うようですが、趣味に向かう姿勢は似ています。
尾崎さんは、車で神社・寺・城などをめぐるのが好きなのだとか。でも、最近は「燻製」のおいしさにはまり、ベークサーモン・牡蠣の「冷燻」づくりをしているのだそうです。休みの日から逆算して、買い物へ行き計画的に準備をしているとのこと。
松本さんは、お家にいるこ

みんなに支えられて 運動を進めたい

役員として新たなスタートをきった二人です。組合員として「ベテランの先生ががんばってくれている」「数の力は大切だな」と感じながら、団体交渉や総会、食事に参加はしていたけれど、そこから組合の大切さをどのように伝えていけばいいか、難しさも感じていたと言います。
それでも、「こども家庭庁ができたことや、若い世代や男性保育士が増えてきたことで、これから学童保育にどう影響していくのか考える」と言います。「学童保育がよりよくなるよう組合員さんの支えを借りながら、運動していきたい」と語ってくれました。